

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム さくらの家
日付	平成16年8月30日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院（老人病棟）での看護業務歴 18年 特別養護老人ホームでの痴呆性高齢者介護歴 20年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

講評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<p>平成15年4月に開設されたばかりのホームである。ホームは派出所、町役場、病院、幼稚園、高等学校、井原鉄道矢掛駅に囲まれた場所にあるが、比較的静かで、入居者が落ち着いて生活できるような環境にある。</p> <p>建物は平屋のゆったりとしたスペースを有し、その中に定員9人ずつの2ユニットを配置している。昼間、玄関のドアは開放され、広々とした芝生、ウッドデッキが設けられており、入居者が安心して戸外での生活を楽しめるような配慮がなされている。天気の良い日は、戸外でのレクリエーション・散歩をしっかりと取り入れ、外から見た人が「将来入居したいと思えるような施設」作りを目指しており、ホームは楽しさと開放感にあふれている。</p> <p>ホーム内は、全てバリアフリーで、くつろぎの共有スペースは、高い天井から自然の光がとり入れられる構造になっており、建物内も開放的である。要所にはソファや腰掛などが配置され、量産きのスペースが設けられるなど、高齢者の機能低下に対応する配慮がなされている。</p> <p>生活も、入居者を中心にゆったりと過ごされており、押し付けてない寄り添うケアがなされている。全体的に明るく家庭的で、施設らしさを感じさせない雰囲気である。</p>
特に改善の余地があると思われる点
<p>排泄におけるプライバシーの保護については、トイレを使用中であることがわかる工夫など再検討が必要ではないでしょうか。</p> <p>事故を未然に防ぐために、「ヒヤリはっ」と報告書を作成し、活用するなど方法の検討が必要ではないでしょうか。</p> <p>就寝前に入浴希望者への対応や、食事メニューに入居者の希望をとり入れるなど、サービスを入居者が選べる場面を増やす必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>立てられた計画が職員に浸透し、計画に沿った個別の対応ができるようなシステムを作る必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>入居者の支援全般において、そのプライドを尊重する姿勢が非常に感じられる。しかしより一層、入居者一人ひとりが、人として尊厳のある生き方が可能となるように、入居者とのコミュニケーションのとり方について工夫が必要ではないのでしょうか。</p>

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<p>身体・言葉・薬の抑制をなくすことを第一の目標に掲げている。特に言葉遣いには気をつけ、入居者を第一に考えたケアを行っている。</p> <p>施設を開放的にし、地域との交流を深めることを目指している。</p> <p>入居者のペース、リズムに合わせ、職員・入居者ともにゆっくり、のんびりと時を過ごしている。</p> <p>理念を受けて、さらに年間の目標と、各月の目標が具体的に掲げられている。</p> <p>今年度は、対外的な活動をより多く取り入れて、活動の場を広げ、地域との交流を深めることを目標としている。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<p>閉じこもりを防止するため、できるだけ戸外に出て動くようにしている。天候の悪い日は、個々の趣味や興味により、屋内でできることを考え、ホーム外での発表の場を企画するなど、入居者の意欲を引き出せるようにしている。また、入居者・家族が希望すれば、終身までホームで過ごすことを実現させたいと考えている。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>入居者の得意なこと、興味のあることを家族から情報収集し、それらが発揮できるような働きかけがなされている。</p> <p>野菜作りが得意な方は、職員に収穫時期などを指導し、職員も「教えていただき、勉強になっている」という入居者の経験を尊重するという姿勢が見られる。</p>		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	<p>管理者は、常にスタッフとコミュニケーションをとり、情報の交換がスムーズにいくよう、心がけている。</p> <p>また、入居者や家族ともより良いコミュニケーションをとり、信頼関係を築くよう、来所時の声かけを密にしている。</p> <p>問題が発生したら、家族にも即刻連絡するとともに、事故報告書を作成し、原因の究明、再発防止に向けての対策がとられている。</p>		